

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月26日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 三栄コーポレーション

コード番号 8119 URL <http://www.sanyeicorp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林敬幸

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 小平敏之

TEL 03-3847-3500

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日

平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	15,994	3.6	344	△48.2	419	△41.9	165	△58.9
24年3月期第2四半期	15,439	0.4	666	11.7	721	5.8	402	52.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 177百万円 (△52.9%) 24年3月期第2四半期 376百万円 (107.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	14.30	13.83
24年3月期第2四半期	34.85	33.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	15,665	7,191	44.1	597.13
24年3月期	15,372	7,183	45.2	600.58

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 6,915百万円 24年3月期 6,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
25年3月期	—	8.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	3.5	1,300	△19.1	1,400	△20.4	800	△18.5	69.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	12,764,732 株	24年3月期	12,764,732 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	1,182,989 株	24年3月期	1,205,195 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	11,575,181 株	24年3月期2Q	11,561,570 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公共投資等による復興需要を背景に、雇用環境は底固く推移し、内需の柱である個人消費を底支えしましたが、欧州危機による景気減速が中国にも波及するなど海外経済の軟化に加え、円高基調が企業心理を冷え込ませ、想定以上に外需が鈍化するなど、引き続き、景気下振れのリスクを抱えた厳しい状況が継続しました。

こうした状況下、当第2四半期連結累計期間の売上高については、家具・家庭用品事業セグメントの売上が増加したことを主因に、連結売上高は前年同期比3.6%増加の159億9千4百万円となりました。利益面では、売上の増加により売上総利益が前年同期比2.8%増加の45億2百万円となりましたが、営業利益は、新社屋建設に伴う経費増、連結子会社の店舗拡充に伴う人件費増や広告宣伝費等の販促費の増加の他、新設連結子会社の先行投資的な経費増もあって、販管費が前年同期比4億4千3百万円増加したことから、同48.2%減少の3億4千4百万円となりました。また、経常利益についても為替差益、持分法による投資利益等は増加しましたが、同41.9%減少の4億1千9百万円となり、四半期純利益は、同58.9%減少の1億6千5百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

(家具・家庭用品事業)

当セグメントの売上高は、国内での携帯端末商材の売上が大きく伸長したことや米国向けのキッチン用品の売上が堅調に推移したことに加え、国内の専門店向けリビング家具等の売上も順調に積み上がったことから、前年同期比20.0%増加の78億7千万円となりました。WMFブランドのドイツ製圧力鍋等のクッキング用品を販売するヴェーエムエフジャパンコンシューマーズ(株)の売上については、設立間もないこともあり、売上への貢献は限定的なものとなっています。セグメント利益は、新会社設立に係る先行投資的な経費増もあり、同16.9%減少の2億7千3百万円となりました。

(服飾雑貨事業)

当セグメントの主力商材であるドイツ製コンフォートシューズ「ビルケンシュトック」については、一部商品の値下げもあって、第1四半期の売上高は前年比減少しましたが、当第2四半期累計期間における売上高は前年同期と同水準となりました。また、単体では防災用品の売上や専門店向けキャリーバッグの売上が堅調に推移しましたが、同専門店向けの縫製小物等については売上が減少しました。この結果、当セグメントの売上高は、前年同期比1.2%増加の44億1千万円となりました。セグメント利益は、「ビルケンシュトック」の一部商品の値下げ、および販促費等の経費増もあり、同29.4%減少の3億3千8百万円となりました。

(家電事業)

当セグメントの売上高は、モッズ・ヘアブランドの理美容家電の国内売上は引き続き堅調に推移しましたが、三發電器製造廠有限公司による欧州向けの売上や、前年好調に推移した小物生活家電の売上が減少したことから、当セグメントの売上高は前年同期比23.7%減少の20億1千9百万円となりました。この結果、セグメント利益は、1億2千1百万円の赤字となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億9千3百万円増加の156億6千5百万円となりました。主な資産の変動は、「現金及び預金」が4億1千7百万円、流動資産の「その他」が2億5千5百万円、それぞれ減少した一方、「建物及び構築物」が6億2千1百万円、「商品及び製品」が4億4千万円、それぞれ増加しております。主な負債の変動は、「未払法人税等」が2億2千3百万円減少した一方、「短期借入金」が4億6千2百万円増加しております。主な純資産の変動は、「利益剰余金」が4千2百万円減少した一方、「為替換算調整勘定」が4千1百万円増加しております。

この結果、自己資本比率は44.1%、1株当たり純資産は597円13銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績修正につきましては、平成24年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

② 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,876,525	1,458,893
受取手形及び売掛金	5,429,537	5,507,671
有価証券	16,087	—
商品及び製品	2,700,009	3,140,694
仕掛品	36,986	37,382
原材料及び貯蔵品	124,461	140,104
繰延税金資産	245,833	229,517
前渡金	107,772	178,808
前払費用	81,244	73,136
短期貸付金	1,268	1,133
その他	466,844	211,343
貸倒引当金	△7,992	△10,841
流動資産合計	11,078,578	10,967,843
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	788,206	1,410,037
機械装置及び運搬具（純額）	143,702	143,545
工具、器具及び備品（純額）	100,782	103,560
土地	827,502	827,502
リース資産（純額）	8,071	5,273
建設仮勘定	278,618	—
有形固定資産合計	2,146,883	2,489,918
無形固定資産		
リース資産	21,519	15,088
その他	308,437	296,410
無形固定資産合計	329,956	311,498
投資その他の資産		
投資有価証券	1,339,938	1,421,263
長期貸付金	18,236	17,554
繰延税金資産	45,615	34,063
破産更生債権等	2,830	973
その他	460,618	469,294
貸倒引当金	△51,420	△47,642
投資その他の資産合計	1,815,819	1,895,506
固定資産合計	4,292,659	4,696,923
繰延資産		
創立費	946	850
繰延資産合計	946	850
資産合計	15,372,183	15,665,617

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,089,379	1,193,920
短期借入金	3,294,905	3,757,435
リース債務	19,381	18,762
未払法人税等	422,015	198,265
賞与引当金	306,055	222,272
役員賞与引当金	53,712	20,140
未払金	946,770	998,650
未払費用	237,030	245,766
未払消費税等	85,035	30,704
その他	185,639	262,394
流動負債合計	6,639,924	6,948,312
固定負債		
長期借入金	1,200,000	1,200,000
リース債務	11,688	2,617
繰延税金負債	381	390
再評価に係る繰延税金負債	81,906	81,906
退職給付引当金	149,664	138,782
役員退職慰労引当金	18,437	19,233
資産除去債務	33,517	34,592
その他	53,508	48,485
固定負債合計	1,549,106	1,526,009
負債合計	8,189,030	8,474,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,914	1,000,914
資本剰余金	645,678	645,815
利益剰余金	6,201,881	6,159,280
自己株式	△314,408	△309,097
株主資本合計	7,534,065	7,496,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,135	11,370
繰延ヘッジ損益	8,167	△26,349
土地再評価差額金	64,686	64,686
為替換算調整勘定	△672,594	△630,858
その他の包括利益累計額合計	△591,603	△581,150
新株予約権	91,446	106,833
少数株主持分	149,244	168,699
純資産合計	7,183,153	7,191,294
負債純資産合計	15,372,183	15,665,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	15,439,460	15,994,036
売上原価	11,060,194	11,491,960
売上総利益	4,379,265	4,502,076
販売費及び一般管理費		
販売費	675,486	800,462
一般管理費	3,037,707	3,356,620
販売費及び一般管理費合計	3,713,194	4,157,083
営業利益	666,071	344,992
営業外収益		
受取利息	643	1,755
受取配当金	11,661	11,118
為替差益	24,514	33,036
持分法による投資利益	33,882	41,129
その他	6,350	10,766
営業外収益合計	77,052	97,805
営業外費用		
支払利息	19,544	22,109
その他	1,922	1,377
営業外費用合計	21,467	23,486
経常利益	721,655	419,312
特別利益		
固定資産売却益	20	819
その他	2,979	714
特別利益合計	2,999	1,533
特別損失		
固定資産除却損	4,762	2,494
建物等除却損失引当金繰入額	6,850	—
減損損失	75	301
その他	6,988	411
特別損失合計	18,676	3,207
税金等調整前四半期純利益	705,979	417,638
法人税、住民税及び事業税	158,435	212,555
法人税等調整額	133,690	41,227
法人税等合計	292,126	253,782
少数株主損益調整前四半期純利益	413,853	163,855
少数株主利益	10,969	△1,615
四半期純利益	402,884	165,470

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	413,853	163,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,411	3,234
繰延ヘッジ損益	△46,661	△34,517
為替換算調整勘定	△7,980	44,805
その他の包括利益合計	△37,230	13,523
四半期包括利益	376,623	177,378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	367,079	175,924
少数株主に係る四半期包括利益	9,543	1,454

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	705,979	417,638
減価償却費	117,033	142,738
減損損失	75	301
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,739	△1,069
株式報酬費用	23,315	22,283
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△66,331	△85,643
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△12,628	△10,545
受取利息及び受取配当金	△12,304	△12,873
持分法による投資損益 (△は益)	△42,395	△39,419
支払利息	19,544	22,109
固定資産除却損	4,762	2,494
固定資産売却損益 (△は益)	△20	△707
有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,003
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,979	△414
売上債権の増減額 (△は増加)	466,716	△6,714
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△83,586	△452,431
仕入債務の増減額 (△は減少)	141,347	13,494
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△28,745	△46,708
その他	△205,852	110,674
小計	1,019,190	74,202
利息及び配当金の受取額	12,304	12,873
利息の支払額	△19,544	△22,490
法人税等の支払額	△408,388	△437,624
営業活動によるキャッシュ・フロー	603,561	△373,038
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	—	15,718
有形固定資産の取得による支出	△128,055	△449,977
有形固定資産の売却による収入	3,056	1,819
無形固定資産の取得による支出	△15,032	△8,376
投資有価証券の取得による支出	△99,197	△37,395
投資有価証券の売却による収入	35,607	10,833
貸付けによる支出	—	△152
貸付金の回収による収入	1,913	969
その他	△553,118	143,928
投資活動によるキャッシュ・フロー	△754,827	△322,633
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,493,167	452,607
長期借入れによる収入	1,200,000	—
自己株式の取得による支出	△917	△1,475
自己株式の売却による収入	—	26
配当金の支払額	△184,970	△208,071
その他	△9,677	8,309
財務活動によるキャッシュ・フロー	△488,732	251,396
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,544	26,643
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△636,453	△417,631
現金及び現金同等物の期首残高	1,786,562	1,876,525
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,150,109	1,458,893

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,560,613	4,357,202	2,646,991	13,564,807	1,874,652	15,439,460	—	15,439,460
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,291	20,185	2,264	25,741	25,473	51,214	△51,214	—
計	6,563,904	4,377,388	2,649,255	13,590,548	1,900,125	15,490,674	△51,214	15,439,460
セグメント利益又は 損失(△)	329,465	479,916	57,971	867,353	△30,764	836,589	△170,517	666,071

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△170,517千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,870,994	4,410,643	2,019,691	14,301,328	1,692,707	15,994,036	—	15,994,036
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,581	28	4,486	17,095	32,715	49,811	△49,811	—
計	7,883,575	4,410,671	2,024,177	14,318,424	1,725,423	16,043,847	△49,811	15,994,036
セグメント利益又は 損失(△)	273,949	338,802	△121,738	491,013	3,695	494,709	△149,716	344,992

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△149,716千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。